

# Ⅶ 異動届出書の記入例 (一括徴収する場合)

## 給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

		年度			
		1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度	
練馬区長 殿	給与支払者	所在地 〒123-4567 東京都〇〇区××1-2-3	特別徴収義務者 指定番号 0060000000	宛名番号 1	
	フリガナ 氏名または名称 〇×商事株式会社	フリガナ マルバツショウジカブシキガイシャ	担連所属 〇〇課〇〇係		
令和〇〇年〇〇月〇〇日提出	個人番号 1111111111111111	個人番号または法人番号	当絡者先 電話 00-0000-0000 内線(111)	氏名 練馬 花子	
フリガナ 氏名 生年月日 個人番号 受給者番号 1月1日現在の住所 異動後の住所	ネリマイチロウ 練馬 一郎 昭和55年5月5日 222222222222 0123456789 練馬区〇〇4-5-6 〇〇区〇〇1-1-1	(ア) 特別徴収税額 (年税額) 84,000	(イ) 徴収済額 6月から9月から5年1 8月まで5月まで8月	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ) 21,000 63,000	異動年月日 31日
		異動の事由		異動後の未徴収税額の徴収方法	
		1. 退職・長 2. 退職・長 3. 退職・長 4. 退職・長 5. 退職・長 6. 退職・長 7. その他		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	
1. 特別徴収継続の場合		特別徴収義務者 指定番号 所在地 フリガナ 氏名または名称	法人番号 担当 所属 氏名 電話	新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を ____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。	
2. 一括徴収の場合		理由 1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日 9月25日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額) 63,000円	
3. 普通徴収の場合		理由 1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与または退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	左記の一括徴収した税額は、 9月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。		

税額通知書の受給者番号を記入してください。

税額通知書の住所を記入してください。

税額通知書の特別徴収税額を記入してください。

異動者の税額を何月から何月まで徴収したか合計額を記入してください。

(ア)の特別徴収税額から(イ)の徴収済額を差し引いた額を記入してください。

1または2の該当する数字を記入してください。

税額通知書の特別徴収義務者指定番号と宛名番号を記入してください。

異動届出書の内容について応答できる方の氏名・連絡先を記入してください。

2を記入してください。

該当する数字を記入してください。また、「7.その他」を記入する場合は、事由・理由の欄も記入してください。

退職・転勤等の異動が生じた年月日を記入してください。

一括徴収分について、徴収予定月日、徴収予定額、納入予定月を記入してください。